

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年10月6日)

- 1 台風18号に伴う公共土木施設被害状況について(県土整備部関連)
【技術企画課】……1ページ
- 2 平成29年鳥取県地価調査の結果及び地価動向について 【技術企画課】……3ページ
- 3 大山町における交付金道路事業での不適切事務処理について
【道路企画課】……4ページ
- 4 高速道路からの一時退出を可能とする料金設定について
(米子自動車道、江府IC⇄道の駅奥大山) 【道路企画課】……5ページ
- 5 県道鳥取空港賀露線の愛称募集について 【道路建設課】……6ページ
- 6 台風18号豪雨による鳥取市河原町渡一木における浸水被害の状況と今後の対応に
ついて 【河川課】……7ページ
- 7 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路企画課・道路建設課・河川課】……11ページ

県 土 整 備 部

台風18号に伴う公共土木施設被害状況について（県土整備部関連）

平成29年10月6日
技術企画課

平成29年9月17日深夜から18日未明にかけて鳥取県に最接近した台風18号に係る公共土木施設等の被害状況について報告します。

1 公共土木施設に係る被害状況等

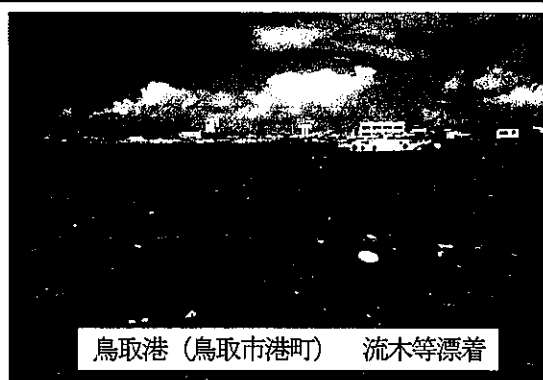
(1) 被害状況

137箇所 約1,602百万円（9月28日現在） 単位：千円

	県工事		市町工事		計	
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
河川	37	326,500	21	119,750	58	446,250
砂防	25	185,800			25	185,800
急傾斜	1	35,000			1	35,000
道路	14	211,500	33	341,500	47	553,000
港湾	4	322,000			4	322,000
公園			2	60,000	2	60,000
計	81	1,080,800	56	521,250	137	1,602,050



私都川（八頭町下峰寺）護岸崩壊



鳥取港（鳥取市港町）流木等漂着

【主な被災箇所】

- (河川) 私都川（八頭町下峰寺）護岸崩壊
- (砂防) 赤波川（用瀬町赤波）護岸崩壊
- (道路) 常藤関金線（関金町関金宿）護岸崩壊
- (港湾) 鳥取港（鳥取市賀露町・港町）
- (公園) 千代川（鳥取市円通寺・古市）

(2) 今後の予定

現在、災害査定を次のとおり日程調整しており、これに向け、測量設計に着手したところである。引き続き、国、市町村等と連携を図りながら迅速な災害復旧に努めていく。

<災害査定の手配> 11月13日の週（調整中）

※港湾関係災害は、11月6日の週で調整中

2 道路の通行規制に係る対応状況 ※継続中

- ・全面通行止
 県道 2箇所 ※生活交通への影響なし（応急対応済）
- ・片側交互通行
 国道 1箇所
 県道 1箇所

【全面通行止】

路線	理由	迂回路	対応状況と今後の予定
県道鳥取国府岩美線 (国府町雨滝～岩美町洗井)	路肩崩落	あり	災害復旧事業対応予定 災害復旧工事完了後、解除予定
一般県道矢矧松原線 ～主要地方道郡家鹿野気高線 (鳥取市矢矧～鹿野町末用)	道路陥没・倒木	あり	災害復旧事業対応予定 災害復旧工事完了後、解除予定

※規制解除(済)箇所のうち市道小河内新田線(河原町小河内)は、災害関連緊急治山事業で対応予定(応急工事は対応済)。
 ※その他規制解除(済)箇所は、流出土砂等の撤去を完了し、今後対策が必要ないことを確認済。

【片側交互通行】

路線	理由	迂回路	対応状況と今後の予定
国道53号線(智頭トンネル付近)	土砂流出の恐れ	あり	21日午後2時に片側交互通行に切替済 ※5/31から規制中
県道鳥取国府岩美線(国府町雨滝)	護岸崩落	あり	災害復旧事業で対応予定 災害復旧工事完了後、解除予定

3 土砂災害等に係る対応状況

8箇所(人的被害なし)(9月29日現在)

路線名等	被害の状況	対応状況と今後の予定
1 松上B地区(鳥取市松上)	法面崩落	単県斜面崩壊復旧事業で対応予定(9月補正)
2 山滝谷地区(鳥取市河原町片山)	法面崩壊	災害復旧事業で対応予定
3 小河内地区(鳥取市河原町小河内)	土砂流出	災害関連緊急治山事業で対応予定
4 岩坪地区 急傾斜地崩壊防止施設(鳥取市岩坪)	法面崩落	災害復旧事業で対応予定
5 刈尻地区治山施設(鳥取市佐治町高山)	法面崩落	施設修繕(単県)予定
6 上砂見第2地区(鳥取市上砂見)	法面崩落	単県斜面崩壊復旧事業で対応予定(9月補正)
7 口細見地区(鳥取市細見)	法面崩落	単県斜面崩壊復旧事業で対応予定(9月補正)
8 小畑地区(鳥取市青谷町小畑)	土砂流出	災害関連緊急治山事業で対応予定

※現場における当面の間の安全は確認済

4 港湾・漁港・海岸における被害

港湾・漁港 3箇所

海岸(県管理) 34箇所(9月29日現在)

路線名等	被害の状況	対応状況と今後の予定
1 鳥取港(鳥取市賀露町・港町)	航路の異常堆積 漂着物(葦・ゴミ等)による港湾閉塞	災害復旧事業で対応予定(9月補正)
2 米子港(米子市灘町)	漂着物(葦・ゴミ等)による港湾閉塞	災害復旧事業で対応予定(9月補正)
3 網代漁港(岩美町網代)	漂着物(葦・ゴミ等)による港湾閉塞	単県事業で対応済
4 県管理海岸	漂着物(葦・ゴミ等)	災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業で対応予定(9月補正)

※現場における応急対応は完了済(鳥取港は航路浚渫を実施中)。

平成29年鳥取県地価調査の結果及び地価動向について

平成29年10月6日
技術企画課

平成29年7月1日を価格判定の基準日とする平成29年鳥取県地価調査の結果及び地価動向について報告します。

1 地価調査の結果及び地価動向

- 平成29年7月1日時点の鳥取県地価調査では、昨年7月1日以降1年間の鳥取県の地価は、住宅地・商業地など**全ての用途で下落**したが、全用途平均で△1.6%と前年(△2.0%)より**下落幅が縮小**となった。
- 主な用途の対前年変動率では、住宅地が△1.7%(全国△0.6%)、商業地が△1.4%(全国0.5%)、工業地が△0.6%(全国0.0%)であり、**いずれも全国平均と比べ下落幅が大きい**。
- 県内の全基準地において、**価格が上昇した地点が9地点**(住宅地：米子市旗ヶ崎2丁目、同市西福原9丁目、同市西福原4丁目、同市米原3丁目、湯梨浜町大字田後及び日吉津村大字日吉津の6地点 商業地：米子市東福原5丁目及び同市米原5丁目の2地点 工業地：境港市昭和町の1地点)で見られ、**価格が上昇した地点は昨年の7地点から2地点増加**した。

第1表 10年間の対前年変動率の推移(鳥取県)

(単位：%)

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
全用途	△3.0	△4.1	△5.0	△5.0	△5.1	△4.6	△3.5	△2.7	△2.0	△1.6	19年連続下落
住宅地	△2.7	△3.7	△4.7	△4.7	△4.8	△4.4	△3.4	△2.7	△2.0	△1.7	18年連続下落
商業地	△4.0	△5.6	△6.4	△6.8	△6.1	△4.9	△3.8	△2.9	△2.0	△1.4	26年連続下落
工業地	△3.9	△4.7	△5.8	△5.9	△5.9	△6.4	△4.3	△2.9	△1.3	△0.6	20年連続下落

第2表 地域別・用途別の対前年変動率

(単位：%)

地域	用途		住宅地		宅地見込地		商業地		工業地		全用途	
	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29
鳥取市	△2.3	△2.0	△2.3	△2.0	△2.5	△1.8	△2.4	△1.9	△2.3	△1.9	△2.3	△1.9
米子市	△1.0	△0.2	△1.3	△0.7	△0.5	△0.1	△0.9	0.0	△0.9	△0.2	△0.9	△0.2
倉吉市	△1.1	△0.9	△3.1	△1.6	△1.7	△1.5	△1.3	△1.4	△1.4	△1.1	△1.4	△1.1
境港市	△2.8	△3.1	△3.6	△2.2	0.0	1.8	△2.6	△2.0	△2.6	△2.0	△2.6	△2.0
市部	△1.8	△1.4	△2.2	△1.2	△1.9	△1.2	△1.3	△0.6	△1.8	△1.3	△1.8	△1.3
町村部	△2.3	△2.0	△2.8	△2.5	△2.4	△2.0	△2.4	△2.0	△2.4	△2.0	△2.4	△2.0
鳥取県	△2.0	△1.7	△2.2	△1.2	△2.0	△1.4	△1.3	△0.6	△2.0	△1.6	△2.0	△1.6
全国	△0.8	△0.6	△1.2	△0.8	0.0	0.5	△0.5	0.0	△0.6	△0.3	△0.6	△0.3

第3表 価格が上昇した地点

用途	基準地の所在	標準価格(円/㎡)	変動率(%)	用途	基準地の所在	標準価格(円/㎡)	変動率(%)
住	日吉津村大字日吉津	24,300	+3.4	住	米子市米原3丁目	42,000	+2.4
住	米子市旗ヶ崎2丁目	44,500	+3.0	工	境港市昭和町	5,600	+1.8
住	米子市西福原9丁目	41,200	+3.0	商	米子市東福原5丁目	51,700	+1.4
住	米子市西福原4丁目	46,500	+2.9	商	米子市米原5丁目	53,000	+1.0
住	湯梨浜町大字田後	25,400	+2.8				

第4表 最高価格

用途	所在地	標準価格(円/㎡)		対前年変動率(%)	備考
		H28	H29		
住	鳥取市西町3丁目	82,500	82,500	0.0	5年連続最高価格、中心市街地の閑静な住宅地域で根強い需要
商	鳥取市栄町	124,000	122,000	△1.6	22年連続最高価格、駅前商業地だが、繁華性が低下し下落基調

2 地価調査の目的

地価調査は、国土利用計画法施行令第9条の規定に基づき、都道府県が毎年1回県内全域の基準地の価格を調査し、その結果を公表するものである。

これは、国の行う地価公示(価格判定の基準日は毎年1月1日)とあわせて一般の土地の取引価格の指標ともなるものである。

第5表 用途別の基準地数

() は内数で、選定替地点数

区分	住宅地	宅地見込地	商業地	工業地	宅地計	林地	合計
基準地数	129	2	35(1)	6	172(1)	6	178(1)

大山町における交付金道路事業での不適切事務処理について

平成29年10月6日
道路企画課

大山町が社会資本整備総合交付金（以下「交付金」という。）で実施した道路改良工事で不適切な事務処理が行われたことが判明したので、その内容等について報告します。

1 不適切事務処理の内容

- ・平成28年度交付金で実施していた道路改良工事について、繰越手続を行わず、工事期間が翌年度に跨ぐ、いわゆる“未竣工工事”を行っていた。
- ・鳥取県に提出された平成28年度交付金事業完了実績報告書では、工事が年度内に完了していないにも関わらず年度内完了の報告を行っていた。

<不適切な事務処理が行われていた工事の概要>

- ・契約工事名 : 町道人権交流センター線改良工事
- ・工事場所 : 西伯郡大山町茶畑
- ・工事概要 : 既存町道の車道拡幅並びに歩道新設（延長199m、車道幅員5.00m、歩道幅員2.00m）
- ・最終契約金額 : 36,535,320円（うち国費9,516,000円）
- ・最終契約工期 : 平成28年8月5日～平成29年3月30日
※実際の工事完了は平成29年4月13日で、工事検査は平成29年4月28日に実施したにも関わらず、工事検査調書は平成29年3月31日付で作成。

2 不適切事務処理の発覚経緯

大山町議会9月定例会において提出された“平成28年度決算審査資料”で、本件工事が年度内に完了したこととされており、町議会議員より、年度を跨いだ4月以降も本件工事が継続されていたことを指摘されたものである。

3 大山町への聞き取り調査結果の概要（平成29年9月27日実施）

(1) 不適切事務処理の発生原因について

- ・未竣工工事が不適切と認識しながら、対応に困り安易に処理するなど、大山町職員の法令遵守意識が欠如していた。
- ・工程管理について業者任せにする等、発注者としての状況把握が不十分であった。
※工事進捗を図るよう日々、大山町は請負業者に対して口頭指示しており、「当現場へ作業員がなかなか回せれないが、年度内には工事完了させる。」旨の回答があった。

(2) 再発防止策について

- ・法令遵守意識を高める職員研修を実施する。
- ・今後の工事の完成期限を原則2月末とし、余裕をもった工程管理に努める。
- ・3月にかかる工事の発生が予見される場合は繰越申請の手続きを行う。

(3) 今後の対応

- ・国費返還を求められた場合は、補正予算により単町費で対応する。
- ・職員の処分は今後の国の判断を待って検討する。
- ・請負業者への処分は町の指名審査委員会で検討する。

4 今後の県の対応

- ・県に対し虚偽の交付金事業完了実績報告を行ったことから、大山町に対し文書で嚴重注意を行い、原因究明や再発防止策などについて文書回答を求める。
- ・今回の調査事項を国交省へ報告し、今後の処理（国費返還）について協議する。
- ・補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（通称、「適化法」。）に基づき、県は市町村の道路交付金事業の執行状況について監督指導する立場であり、今後も引き続き適正な交付金事業の執行を市町村に求めるとともに、特に繰越手続き等の年度末の事業執行の管理を強化する。
- ・県内の他市町村に対し、交付金事業の適正な執行について文書で再周知する。

高速道路からの一時退出を可能とする料金設定について (米子自動車道 江府 I C ー道の駅奥大山)

平成29年10月6日
道路企画課

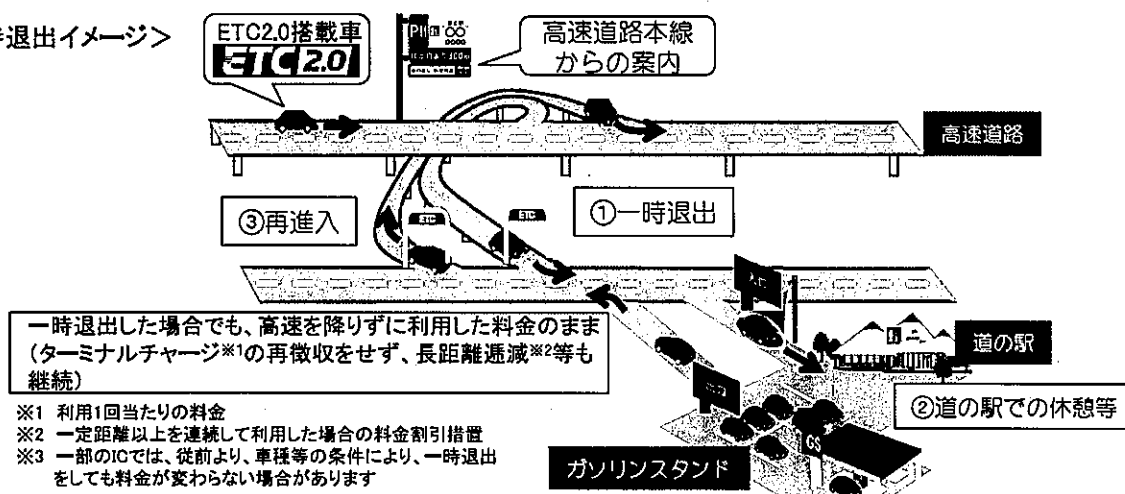
国土交通省が試行している、有料高速道路から最寄りの道の駅への一時退出にともなう料金の据え置き割引対象に、「江府ICー道の駅奥大山」が選定されましたので、その概要について報告します。

1. 概要

- 国土交通省において、全国で約 100 区間存在する高速道路の休憩施設同士の間隔が概ね 25km 以上離れている空白区間を半減することを目的に、今回新たに 17 箇所の道の駅が選定されました。(平成 29 年 2 月に同条件で選定されている 3 箇所と合わせて全国 20 箇所)
- ETC2.0 搭載車が対象で、高速道路をいったん降りて道の駅で休憩した後、1 時間以内に同じ IC から高速道路に乗り直せば、降りずに利用した料金のみとなります。
- ETC2.0 の受信設備等を設置して、年度内の運用を目標としています。

※ETC2.0 は、いままでの ETC の料金収受だけでなく、全国の道路約 1600 箇所の通信ポイントから、災害や渋滞の情報を得てカーナビゲーションに表示できるシステムです。

<一時退出イメージ>



出典：9月26日国土交通省発表資料

【参考】料金の試算

岡山 I C	→	江府 I C	→	米子 I C	合計 3760 円
		3130 円	630 円		
		3480 円			(-280 円)

○中国地方では、鳥取県1、島根県1、広島県2、山口県1(先行施設)計5施設が対象になりました。

2. 選定理由

○道の駅奥大山(江府町)は、大山 PA~蒜山 SA 間が29km 離れていたため選定されました。

3. 県としての今後の対応

- 「遊・悠・West」「道の駅旅案内」等のフリーペーパーに米子自動車道利用促進と併せてPRし、米子自動車道から道の駅奥大山への訪問者の増加を図ります。
- 道の駅奥大山への立ち寄りを誘導するため、地域の特色の掘り起こしについて江府町や関係機関とともに検討していくこととします。

県道鳥取空港賀露線の愛称募集について

平成 29 年 10 月 6 日
道 路 建 設 課

鳥取砂丘コナン空港と鳥取港を一体感のある賑わい拠点とするため両港を直接連絡する県道鳥取空港賀露線（平成 30 年 3 月供用予定）について、多くの方により親しみを持って利用していただけるよう愛称を付けることとしました。ついては、広く一般の方から愛称を募集し、名称選定委員会において愛称（案）を決定したいと考えています。

1 スケジュール（案）

- 11 月上旬 愛称募集開始（新聞、チラシ、ホームページ等により募集）
- 12 月中旬 応募締切
- 12 月下旬 名称選定委員会（愛称（案）決定）
- 2 月下旬 表彰式（最優秀賞（1 点）、優秀賞（3 点））
- 3 月下旬 開通式

2 名称選定委員会委員（案）

名称選定委員会の委員については現在選定中ですが、構成については下表のとおりを想定しています。

分野	委員数
経済	1 ～ 2 名
観光	1 ～ 2 名
鳥取港関係者	1 ～ 2 名
鳥取空港関係者	1 ～ 2 名
地元自治会関係者	2 ～ 3 名
公募	1 名
地元市町村	1 ～ 2 名

3 愛称要件（案）

- 道路の特徴と地域の魅力を表した覚えやすい愛称
- 漢字、ひらがな、カタカナ混用可能
- 文字数は 15 字以内を目安
- 県内の他の道路の愛称と類似していない愛称
 - ・ ジオパークロード（鳥取市・岩美町）
 - ・ 水木しげるロード（境港市）
 - ・ コナンロード（北栄町）
 - ・ かわはら八頭フルーツライン（八頭町）

台風18号豪雨による鳥取市河原町渡一木における浸水被害の状況と今後の対応について

平成29年10月6日
河川課

平成29年9月17～18日に発生した台風18号豪雨による大井手川周辺（河原町渡一木地区）における浸水被害の状況と今後の対応について報告します。

1 浸水被害の状況

- (1) 発生日時 平成29年9月17日 午後11時頃から翌18日未明
- (2) 発生場所 鳥取市河原町渡一木
- (3) 家屋被害 床上浸水18戸、床下浸水11戸

2 浸水被害発生時の状況

(1) 大井手川（河原地区）における洪水対応

大井手川は、元々用水路の小さな河川であり、大雨の際には地区毎に降った雨を千代川に放流する仕組みとなっており、以下の手順で浸水被害の防止に努めることとしている。

- ①取水口である最上流の大井手用水樋門(国管理)を閉めて千代川から大井手川へ流れ込まないようにする。
- ②当該地区に降った雨が、大井手川下流に浸水被害を起こさないようにするため、大井手用水河原樋門(県管理)を閉め、大井手放水路から千代川へ放流する。
- ③河原水門(国管理)は、千代川の水位が放水路より高い場合には、千代川の水が放水路へ流入して集落側の浸水被害が拡大するのを防ぐために閉鎖し、その逆の場合は、水門を開放して放水路から千代川へ排水するよう、千代川と放水路の水位に応じて水門の開閉操作を行う。

(2) 河川水位と水門操作状況

台風18号豪雨時においては、以下のとおり河原水門の操作を行い浸水被害の軽減に努めたものの、やむを得ず浸水被害が発生したものと推察している。

- ・千代川上流（佐治、智頭）で、17日19時～20時をピークとして大雨が降ったことにより、降雨から3～4時間後、千代川（袋河原）の水位が上昇し17日23時に水位がピークとなった。
※放水路付近でも同様の水位状況と推測され、今回の水位は既往最高であるS54年台風20号豪雨と同等である。
- ・17日18時～21時、河原地区で約200mmの集中豪雨が降ったが、千代川の水位がまだ低かったため、放水路から千代川へ排水できていたものと思われる。
- ・17日22時15分、千代川河原水門地点の水位が放水路と同じ水位になったため、千代川からの流入を防ぐため河原水門を閉めたが、河原地区では2時間で60mmの強い雨が降り続いたため、浸水被害（内水）が発生したものと思われる。
- ・17日23時22分、千代川河原水門地点の水位のピーク後、千代川の水位が放水路の水位より低くなったため、水門を開け放水路から千代川へ排水した。その後、水門の開閉操作を繰り返し行い、千代川からの流入を防ぎながら放水路から排水し、被害をできるだけ小さくするように努めたと聞いている。
⇒現在、浸水状況の検証を急ぎ行っているところである。

3 浸水被害への対応

(1) 経緯

①地元説明会（H29.9.22）

- ・当日の水門・樋門操作の状況等を説明したが、住民の理解を得られなかったことから、改めて住民説明を行う予定である。

<住民からの主な意見>・水門、樋門の操作が適切でなかったため、浸水被害が発生したのではないかと。

②国、県、市、土地改良区による浸水被害への対応に係る協議会（H29.9.25）

- ・浸水被害と水門樋門操作の状況を確認し、次の内容について検討していくこととした。

<今後の対応>

- ・関係機関による情報共有と住民への情報伝達体制の整備
- ・県による大井手川へのライブカメラ等、国による水位計（内外水位）の設置を検討
- ・国保有排水ポンプ車の支援要請と県による釜場（排水ポンプ固定施設等）の設置を検討

③県、市町村水害対策検討会（H29.10.2）

- ・台風18号への対応を踏まえた関係機関における内水被害に関する情報共有の方法等を確認した。

(2) 今後の対応（案）

①浸水メカニズムの検証

- ・国、鳥取市とともに浸水被害の検証を行ったうえで、地元へ丁寧な説明を行う。（国、県、市）

②確実な避難のための情報共有と情報伝達体制

- ・浸水の切迫性を伝えるため、大井手川にライブカメラ・水位計を設置するとともに、河原水門に水位計（内外水位）を設置（国に要望）し、水位及び浸水の危険性などを分かりやすく住民へ伝える。（県、国）
- ・樋門・水門の操作情報を関係機関が共有し、住民への情報伝達体制を整備する。（国・県・市・土地改良区等）
- ・住民の安全、円滑な避難に向けて、関係機関との連携のもと、避難時間等を考慮した適切な避難情報の発出時期等を検討する。（国、県、市）

③排水対策

- ・浸水被害（内水）を軽減する排水ポンプ車の規模及び配備を検討する。（国、県、市）

④水門操作

- ・水門の安全・確実な操作を実施するため、一人体制でなく交代要員の検討を行う。（国へ要望）
- ・水位の確認作業を安全に行うための水位計（内水位・外水位測定）の設置の検討を行う。（国へ要望）

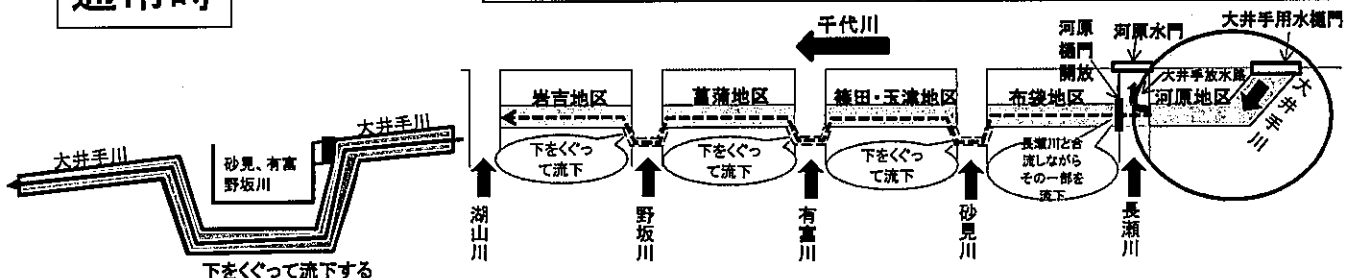
(3) その他

- ・国、県、市町村等で構成する減災対策協議会の中で、住民への水害危険性の周知や情報伝達体制の構築など、浸水被害（内水）への対応策についても検討していく。

大井手川の概要

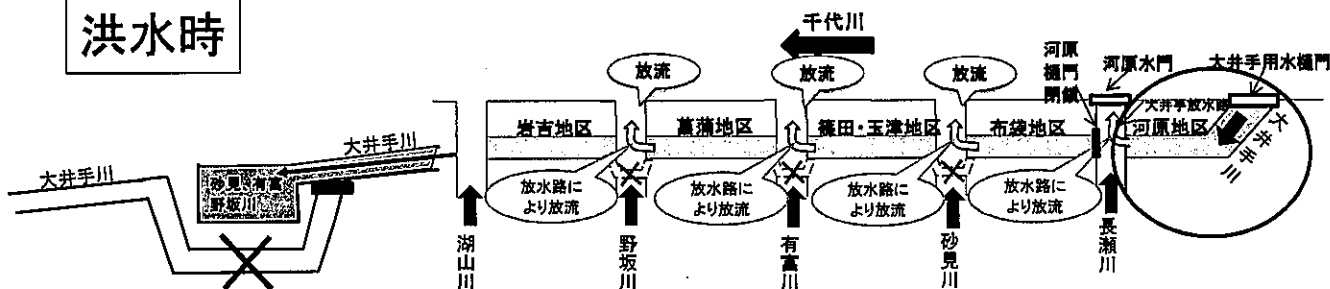
通常時

通常時：砂見、有富、野坂川と合流せず下をくぐって流下する。



洪水時：大井手放水路、砂見、有富、野坂川に放流し、下流に流さないようにする。

洪水時



河原地区

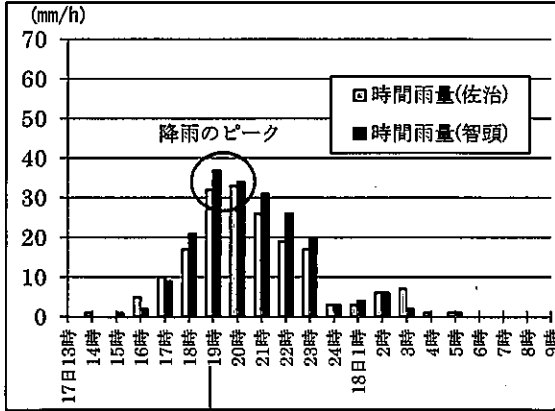
県管理区間(大井手川)



台風 18 号豪雨時の雨量及び水位の状況と水門操作イメージ

台風 18 号豪雨

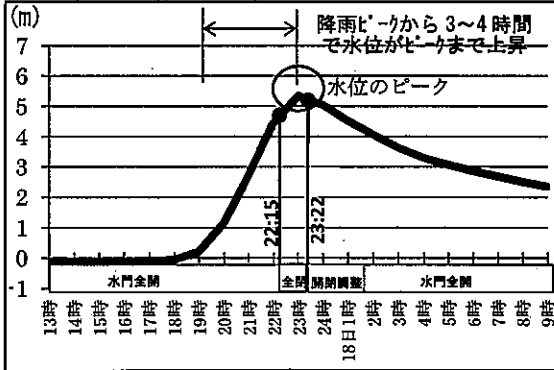
<千代川河原地区上流の降雨状況>



台風 18 号豪雨

<千代川(袋河原)の水位状況>

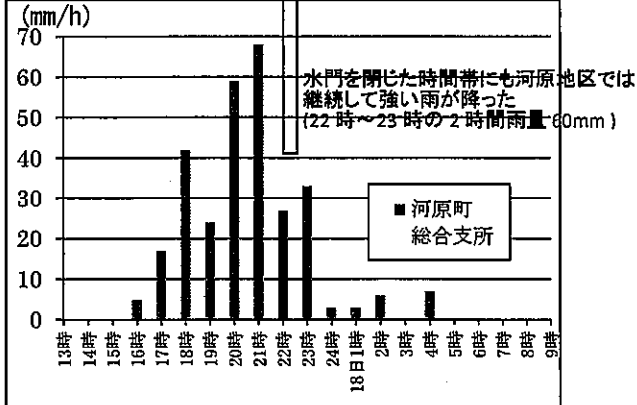
※河原地区に最も近い水位計



※平成 29 年台風 18 号豪雨での千代川水位は、既往最大相当(昭和 54 年台風 20 号豪雨)のピーク水位であった。

台風 18 号豪雨

<河原地区の降雨状況>



※平成 29 年台風 18 号豪雨での河原地区での時間雨量は 68mm で約 30 年確率相当であった。
(河原支所に設置された雨量計により計測された雨量)

<洪水時の河原水門の操作イメージ>

■洪水時に河原水門を開けていると

■水門操作 ①(千代川の水位が大井手川より高い場合)

■水門操作 ②(千代川の水位が大井手川より低くなった場合)

千代川と放水路の水位を見ながら水門操作①②を行い、千代川から大井手川への流入を防ぎながら大井手川の水を千代川へ放流することにより、大井手川の水位上昇を最小限とし、被害をできるだけ小さくする。

今後の対応について

<浸水メカニズム検証>

- ①浸水発生メカニズムを検証し、地元へ丁寧に説明する。(国、県、市)

<確実な避難のための情報共有と情報伝達体制>

- ②浸水の切迫性を伝えるため、大井手川にライブカメラ・水位計を設置、河原水門に水位計(内外水位)を設置し、水位及び浸水の危険性などを分かりやすく住民へ伝える。(県、国)
- ③樋門・水門の操作情報を関係機関が共有できるよう連絡体制を整備する。(国、県、市、土地改良区)
- ④住民の安全、円滑な避難に向けて、国、県市等の関係機関の連携のもと、避難時間等を考慮しながら、適切な避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)をいう。)の発出時期等を検討する。(国、県、市)
併せて、災害の恐れがある場合に必要な対策及び行動について、住民に日頃から丁寧に説明、周知を行う(市)

※「県・市町村水害対策検討会議」(10月2日開催)で、県・市町村で協議済

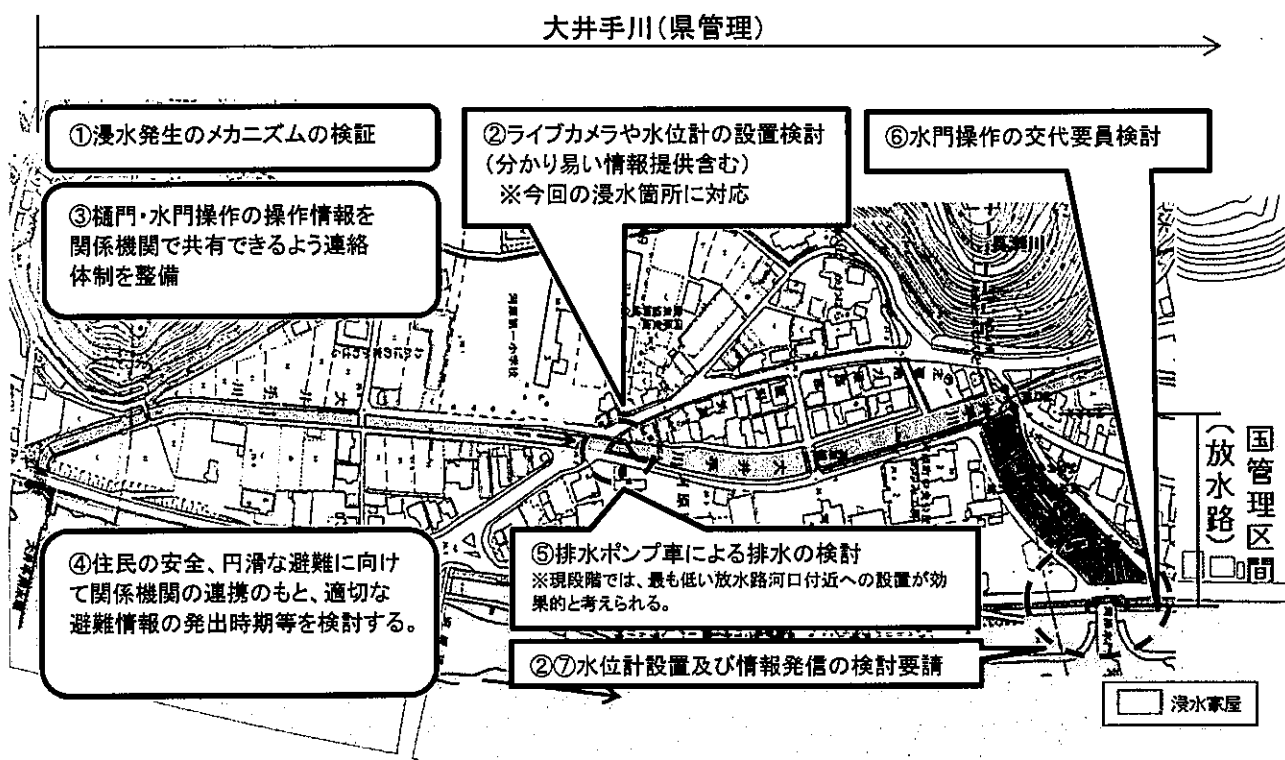
<排水対策>

- ⑤浸水被害を軽減する排水ポンプ車の規模及び配備を検討する。(国、県、市)

- ・避難にかかる時間を考慮した出動要請のタイミングと連絡方法
- ・排水ポンプ車の設置場所及び釜場(ポンプ固定)場所

<水門操作>

- ⑥水門の安全・確実な操作を実施するため、一人体制でなく交代要員の検討を行う。(国へ要望)
- ⑦水位の確認作業を安全に行うための水位計(内水位・外水位測定)の設置〔再掲〕及び情報発信の検討を要請する。(国へ要望)



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
河川課 (中部総合事務所 県土整備局)	北条川放水路改修工事(護岸工)(4工区)	東伯郡 北条町 弓原浜	株式会社井中組 代表取締役 井中 紳二	134,352,000円 (予定価格) 146,455,560円	平成29年 9月28日 ～ 平成30年 3月15日	平成29年 9月28日	制限付一般競争入札 (12社)
河川課 (西部総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局)	日野川霞地区河川改修工事	日野郡 日南町 霞	株式会社コーゼン 代表取締役 川端 登志一	127,332,000円 (予定価格) 136,920,240円	平成29年 9月29日 ～ 平成30年 3月20日	平成29年 9月29日	制限付一般競争入札 (8社)

【変更分】		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路企画課 (八頭県土整備 事務所)	県道岩美八東線(姫路A50 5工区)道路災害防除工事 (交付金防災)(経済対策)	八頭郡 八頭町 姫路	こおげ建設株式会社 代表取締役 山根 敏樹	(当初契約額) 94,068,000円 (第1回変更後契約額) 105,368,040円 (変更額) 〔 11,300,040円 〕	平成29年 3月21日 ～ 平成29年11月10日	(当初契約年月日) 平成29年 3月21日 (第1回変更契約年月日) 平成29年 9月14日	- 当該工事は、昨年度の法面緊急点検で浮き石等の不安定な転石が多数確認されたため、早急に落石対策を実施する工事。 ・法面伐採後の測量により、現地の地形起伏に応じて施工に必要な支柱及び落石防護網の割り付けを行った結果、落石防止網の面積が増加したことによる工事費の増。
道路企画課 (中部総合事務所 県土整備局)	県道烏取鹿野倉吉線(大原 工区)災害防除工事(4工 区)(交付金)	倉吉市 大原	株式会社井木組 代表取締役 井木 敏晴	(当初契約額) 111,024,000円 (第1回変更後契約額) 111,764,880円 (変更額) 〔 740,880円 〕	平成29年 6月 7日 ～ 平成30年 1月26日	(当初契約年月日) 平成29年 6月 7日 (第1回変更契約年月日) 平成29年 9月25日	- ・残土処分について、他工事との調整の結果、土砂の受入時期の調整が必要となり、一時仮置きが必要となったことによる工事費の増。

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課 〔鳥取県土整備 事務所〕	国道178号(岩美道路)改良 工事(1工区)(補助)(経済 対策)	岩美郡 岩美町 陸上	やまこう建設株式会社 代表取締役社長 岡田 幸一郎	(当初契約額) 143,964,000円 (第1回変更後契約額) 144,170,280円 (変更額) 206,280円	平成29年 1月 5日 ~ 平成29年 9月19日 (変更後工期) 平成30年 3月15日	(当初契約年月日) 平成29年 1月 5日 (第1回変更契約年月日) 平成29年 9月15日	- ・工事区間において崩落法面が発生 したため、抑止工を実施することによ る工事費の増。(抑止工の増額に対 応するため、掘削工及び盛土工の数 量を減とした。) ・上記の検討及び施工に日数が必要 となったことによる工期延長。
道路建設課 〔西部総合事務所 〔米子県土整備局〕〕	県道溝口伯太線(阿賀~原 工区)改良工事(2工区)(防 災安全交付金)(経済対策)	西伯郡 南部町 阿賀 ~ 原	株式会社平井組 代表取締役 西澤 賢史	(当初契約額) 107,892,000円	平成29年 2月16日 ~ 平成29年10月 6日 (変更後工期) 平成30年 3月20日	(当初契約年月日) 平成29年 2月15日 (第1回変更契約年月日) 平成29年 9月28日	- 旧構撤去時に既設護床ブロックの存 在が判明したため、河川管理者(国土 交通省)と協議をしながら、復旧工法 の検討を行ったが、これに時間を要 し、河川内作業が出水期前に完了で きなかったことによる工期延長。
道路建設課 〔西部総合事務所 〔米子県土整備局〕〕	国道181号(岸本バイパス) 改良工事(9工区)(社会交 付金)(経済対策)	西伯郡 伯耆町 金廻	イワタ建設株式会社 代表取締役 岩田 義美	(当初契約額) 93,960,000円 (第1回変更後契約額) 108,355,320円 (変更額) 14,395,320円	平成29年 3月 8日 ~ 平成29年10月23日 (変更後工期) 平成29年11月30日	(当初契約年月日) 平成29年 3月 7日 (第1回変更契約年月日) 平成29年 9月28日	- 切土工の施工範囲内において、当 初想定していなかった岩盤が広範囲 に確認されたことから、岩盤削及び 石礫砕が必要となったことによる工事 費の増。 上記作業に日数が必要となったこと による工期延長。

【変更分】

主務課	工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	変更理由
河川課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	北条川放水路改修工事(護岸工)(3工区)(経済対策)	東伯郡 北栄町 弓原	株式会社井木組 代表取締役 井木 敏晴	(当初契約額) 133,812,000円 (第1回変更後契約額) 134,422,200円 (変更額) 〔 610,200円 〕	平成29年3月22日 ～ 平成29年12月1日	(当初契約年月日) 平成29年3月22日 (第1回変更契約年月日) 平成29年9月6日	- 工事用道路設置箇所が存在する縦排水路について、当初は、敷設板を設置し、走行する予定にしていたが、振動や重み等により破損する恐れがあったため、覆工板を用いて、保護を行ったことによる工事費の増。
河川課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	北条川放水路改修工事(護岸工)(2工区)(経済対策)	東伯郡 北栄町 弓原	馬野建設株式会社 代表取締役社長 馬野 慎一郎	(当初契約額) 94,932,000円 (第1回変更後契約額) 94,868,280円 (変更額) 〔 △63,720円 〕	平成29年3月24日 ～ 平成29年11月13日	(当初契約年月日) 平成29年3月24日 (第1回変更契約年月日) 平成29年9月14日	- 現地測量の結果により、鋼矢板の実施数量を精査したことによる工事費の減。

